



# 目次

序文 偶然か決定論か——問われる科学……………	1
プロローグ ルネ・トム——「カストロフイ」の数学者、異端の危険を冒す	
科学の冒険家……………	1
第一部 組織化する無秩序	
1 イリヤ・プリゴジン——「散逸構造」の建築家……………	19

2	アンリ・アトラン——自己組織化の理論家……………	38
3	エドガール・モラン——知の密猟者……………	81
4	パウル・ファイヤアーベント——科学のアナーキスト……………	97
5	ジャン・ピエール・デュピユイ——複雑さの先駆け……………	110
6	ベルナール・デスパルニャ——「隠された」現実の使徒……………	123
7	フリッツヨフ・カブラ——禅の物理学者……………	132
8	ユベール・リーブ——星の語り部……………	142
9	アルベール・ジャカール——環境・遺伝学者……………	157
10	ジャン・ピエール・シャンジュ——「ニューロン人間」……………	170
11	ジャン・マルク・レビルブロン——科学の批評家……………	185
12	ジャック・アタリ——地平の探求……………	192

第二部 人工知能——神話か現実か

13	ハインツ・フォン・フェルスター——サイバネティックスの開拓者……………	223
----	-------------------------------------	-----

14	ヒューバート・ドレイファス——人工知能の正体をあばく	
	エドワード・ファイゲンバウム——エキスパート・システムのエキスパート……	236
15	ハーバート・A・サイモン——コンピュータ王	257
16	テリー・ウイノグラード——戦闘的情報科学者	270
17	セイモア・パパート——タートル・ロゴ……	283
18	ピエール・レビー——「万能機械」の危険……	298
	原註	305
	……	
	訳者あとがき	317